

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区の概要(茨城県)

実施主体名	茨城県産米輸出拡大実証協議会
参画事業者	百笑市場、豊田通商、生産者（武平ファーム、おいしい農園、ソメノグリーンファーム）、茨城県
対象品目 対象国・地域	コメ：北中米（カナダ等）、EU（オランダ等）

推進体制の構築

- 四半期を目安に、定期的に事業の進捗に関する会議を開催し、栽培の状況や海外の動向等について進捗の確認や情報共有を図るとともに、結果を踏まえて、取組の修正等の検討を実施
- 協議会で生産したコメの海外での品質、販売状況を確認するとともに、支援プラットフォームとの連携による海外での情報発信や、コメと他の茨城県産品との混載による輸出の拡大に向けて検討を実施

輸出額目標（百万円）

品目	令和4年度	令和7年度
コメ	186	555

生産の転換

- 多収品種「ハイブリッドとうごう」シリーズの低コスト生産と、大規模な輸出米産地におけるAIの活用による適期作業及び共通資材の活用により得られる品質向上効果を確認するため、
 - ① 「ハイブリッドとうごう」シリーズの直播栽培（ドローンを用いた湛水直播・乾田直播）による低コスト化を実証
 - ② 水稻再生二期作の導入による極多収栽培を実証
 - ③ AIや水管理システムを活用したほ場管理の実施による適期作業の実現と、管理方法の統一により、品質や収量の安定化を実証
 - ④ 生産資材の統一と同時期での使用により、輸出先国の規制対応を軸とする食品安全について検証を実施
 - ⑤ 中干しの延長によるＪ－クレジット制度への参加について、効果や問題点を検証

流通の転換

- 精米製造の改善と、点在する輸出産地からの集荷から海外輸送まで物流コスト削減に向け、
 - ① 最新の無洗米技術による精米製造を試験し、品質向上の実証とコスト面での効果を検証
 - ② 既存施設の活用による一元集荷拠点の設置と在庫管理の効率化に関する実証
 - ③ 地域港湾である常陸那珂港を活用した国内輸送のコスト削減の実証と既存航路を活用した場合の海外輸送に及ぼす影響の確認を実施
 - ④ 輸出先が求める品目との混載によるコスト削減効果の実証と輸送温度帯の変更が品質に及ぼす影響の確認を実施

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区の概要(山梨県、茨城県)

実施主体名	グローバルぶどう輸出産地協議会
参画事業者	アグベル、アグベル桜川、金融機関、物流機関、その他生産者等が参画 ※山梨県と茨城県で実施
対象品目 対象国・地域	ぶどう（シャインマスカット）：台湾、カナダ、マレーシア

推進体制の構築

- 山梨県や茨城県のぶどう生産者との産地間連携や、山梨県内の会社との連携によるジュース・ワイン等の加工品開発により、ぶどう及び加工品の通年生産・輸出体制を整備
- シーズン後に、今期の取組の振り返りや、PDCAを回しながら次年度以降の取組改善を実施
- ぶどうの海外プロモーションに向けた制作物を作成し、山梨・茨城県ブランドの認知度向上・ブランド統一化を推進

輸出額目標（百万円）

品目	令和4年度	令和7年度
ぶどう	100	160

生産の転換

- 本事業で新設する茨城県内のほ場では、アグベル桜川を中心に、耕作放棄地等の活用により、農地集約・生産効率の向上を図る。また、ぶどう農家を集めて台湾の防除体系に対応した産地の形成に向け、ほ場内への雨よけ設置等を推進
- 現在、山梨県では物流業者にて生産者のぶどうを集荷しているが、既存のコンテナでは積載量に課題があり、輸送量が変化してしまうため、新たに集荷用コンテナを導入することで、大ロット・効率的な運搬体制を構築

流通の転換

- 産地づくりを進めている山梨県・茨城県の双方から近い成田空港を活用した輸出体制を構築するため、アグベル内に輸出専門人材を配置し、生産者から海外までワンストップで輸出可能な体制を整備
- 山梨大学工学部の研究グループと連携し、テクノロジーを活用した選抜作業の効率化をテスト実証し、集荷場の作業効率化や未経験者でもムラがなく、ぶどうの選別ができるような仕組づくりを構築
- 輸出支援プラットフォームを活用して、台湾・カナダ・マレーシアにおける日系小売店向け営業活動、バイヤー招聘を実施

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区の概要(山梨県)

実施主体名	笛吹果実輸出産地形成協議会
参画事業者	笛吹農協一宮ブロック果実販売対策協議会、笛吹農協、世界市場、NIPPON ICHIBA（台湾、香港）
対象品目 対象国・地域	もも・ぶどう：台湾、香港

推進体制の構築

- 笛吹果実輸出産地形成協議会において、現地規制の調査、集荷～出荷体系構築の検討、海外での情報発信等を実施
- 一宮ブロック果実販売対策協議会に輸出部会を設立し、海外の規制対応やブランド力強化等を実施するとともに、輸出用商品の専用集荷体制や選果ラインの分別により国内向け商品との混同防止体制を構築

輸出額目標（百万円）

品目	令和4年度	令和7年度
もも	54	58
ぶどう	19	39

生産の転換

- 台湾向け輸出を目指し、モモシンクイガの発生確率の低いほ場での栽培を行えるなど一定の条件を満たす組合員を募集し、台湾向け防除暦による栽培やG-GAPに準じた生産管理方法による取組を実施
- 残留農薬規制への対応について、世界市場と三井化学クロップ＆ライフソリューション(株)による輸出部会専用の防除暦の開発を行い、出荷前段階で台湾の検査基準による残留農薬検査を実施
- G-GAP認証取得に向けて外部専門家を活用

流通の転換

- 収穫後青果物の鮮度保持分野の専門家招聘による研修を実施するほか、専門家からの産地視察を通じた工程管理や将来の設備設計に関する指導の受入れ
- 輸出用商品の専用集荷体制の構築検討、将来の設備投資に向けた検品・予冷作業の検証を実施
- 冷蔵車を活用した予冷库から空港までのコールドチェーン確保の調査や断熱ボックスを活用した品質保持の調査を実施
- 世界市場の現地子会社を通じて、販売促進活動、ブランディング等を実施

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト採択地区の概要(長野県)

実施主体名	長野県
参画事業者	長野県農産物等輸出事業者協議会、JA全農長野、PFC長野
対象品目 対象国・地域	①ぶどう：台湾、香港、シンガポール、タイ、カナダ ②もも：台湾、香港、シンガポール ③なし：台湾、香港 ④りんご：香港、シンガポール、タイ ⑤いちご：タイ

推進体制の構築

- 販路拡大のためのぶどう、りんご、もものリーフレット作成
- 県産ぶどうのPRパッケージとして産地が記載された輸出専用化粧箱の作成（流通の転換のリパック作業試験で活用）
- タイの小売店でのぶどう・りんごの試食販売フェア、カナダの小売店でのぶどうのテスト販売（中部国際空港を活用した輸送試験の確認を含む）

輸出額目標（百万円）

品目	令和4年度	令和7年度
ぶどう	972	1,636
もも	259	183
なし	27	35
りんご	14	14

生産の転換

- タイの小売店バイヤーを招聘し、生産者との意見交換やりんごの園地登録に向けた園地・選果場の視察、生産者等を対象にタイへの輸出に必要な規制対応等についてセミナーを実施
- タイ（ぶどう、もも、なし、りんご、いちご：4JA）、台湾（ぶどう、もも、なし：2JA）、カナダ（ぶどう：1JA）への輸出に向けた残留農薬分析を行い、輸出に対応する防除暦の検討・見直しを実施するとともに、生果実の園地登録及び選果こん包施設登録に向けた支援を実施

流通の転換

- 県内のJA等の選果場から、PFC長野（輸出拠点施設）への集荷体制構築に向けた輸送試験、コスト検証を実施
- PFC長野の高機能冷蔵庫を活用した長期冷蔵保管による鮮度保持試験や、専用冷蔵車による港湾までコールドチェーンの一貫輸送の鮮度保持実証を実施
- PFC長野に新しく輸出専用ラインを設置するための専用パレット等の資材の導入、輸出専用包装材を活用したリパック作業や品質保持のための検品ラインの設置によるロス率低下試験を実施